

行事／取組名称	ジュニアチャレンジ in 秋田		
担当者	北原 和夫		
開催日時・期間	H29.3.31（金） 13時30分～15時	会場	TDK歴史みらい館 みらいラボ1
主 催	JPhO	後援	
共 催	TDK		
協 賛			
概 要			
将来の科学技術人材となる小学生たちに科学と技術に対する興味関心を啓発することを目的として、小学生たちに直接語りかけ、また物理現象の面白さ、不思議さを体感させる。TDK 歴史みらい館が行っている啓発活動に協力する形で実施した。			
参加者	教 員	小学生	
	1 名	15名（4年生～6年生） （男子13名、女子2名）	

報告事項
午前中に当館に到着後、館の職員が作成した実験装置を使って予備実験を行い、また実験内容について確認を行った。 13時30分：ドライアイスの性質について話し、水の氷との違いについて、実際にテーブル上で滑らせてみる。つぎにドライアイスの入っている実験箱（アクリル板で作成した箱）の中にある気体について考察する。点火したろうソクを入れて下ろしていくと火が消えることから中に炭酸ガスが充満していることを理解する。 つぎにシャボン玉を実験箱に吹き込む。ドライアイスからの炭酸ガスが充満しているので、シャボン玉は浮遊する。これによって比重の違いによって浮遊が起こることを理解する。浮遊しているシャボン玉の内部にさらにシャボン玉を吹き込む等様々なアイデアで遊ぶ。 最後に理解したことをみんなでまとめて終了。